

# The Mille Has Times

2023  
AUTUMN  
VOL.6

## ミルハス1周年、音色で祝う 芸大フィル公演



ミルハスグランドオープン1周年記念

# ステージと客席、喜び共に

演奏を終えた芸大フィルの団員たちに盛大な拍手が贈られた



あきた芸術劇場は9月、グランドオープンから1周年を迎えた。同月18日には芸大フィルハーモニア管弦楽団の記念公演が開かれた。ミルハスの愛称にちなみ(「ミル」はフランス語で「千」)、利用者らが作った折り紙のハスの花で館内を飾る「千のハス」展示も始まった。

チェロ・羽川さん(秋田市出身)

## 「仲間と演奏、感無量」

芸大フィルは、東京芸術大学の教官らで構成するオーケストラ。国内外で活躍する同大指揮科客員教授の現田茂夫さんが指揮した。ハイレベルな技術が生み出す音色を聴こうと約1,500人の観客が集まった。

モーツァルトの交響曲第41番ハ長調「ジュピター」、ベートーヴェンの交響曲第7番イ長調などを演奏。観客はじっくりと耳を傾けた。曲の合間には指揮の現田さんが秋田市出身のチェリストで首席奏者の羽川真介さんを紹介、ユーモアあふれる会話を披露する場面もあった。

羽川さんは公演後、「ここで芸大フィルの仲間と演奏できて感無量。大ホールの音響の素晴らしさをあらためて実感した。県民の財産として育ててほしい」と話した。

観客からも1周年への祝意が聞かれた。石川純子さん(由利本荘市、60代)は「建物が素敵だというだけでも特別な気分になれる。1周年の節目の公演に来られて

うれしい」と笑顔。三浦恵理子さん(秋田市、30代)は「立派できれいなミルハスで今後、好きなミュージシャンの公演が開催されたらうれしい」と期待を込めた。若狭良博さん(秋田市、60代)は「教育現場にいた頃、子供たちを旧県民会館の舞台に立たせるのが楽しみだった。ミルハスは本物に触れられる場。子供たちがその舞台で大きく成長していく姿を想像している」と話した。



指揮の現田さんに促され、ステージ上でマイクを持つ羽川さん

## 2,362輪、館内に 全国から協力続々

館内に1,000輪のハス(折り紙)を咲かせよう。1周年を記念したプロジェクトへの協力の動きはスタッフの予想を超え、目標の2倍超となる2,362輪が集まった。

折り方を紹介し協力を呼び掛けるチラシと用紙セットの配布を始めたのは8月半ばだった。下旬に入ると、「ハスの花」の持ち込みが急増。20~30個をビニール袋や段ボール箱に入れて持参する人も多く、東京や大阪、県内各地から宅配便などでも届いた。館内の制作ブースでは連日熱心に折



臨時の「制作ブース」では楽しそうにハスの花を折る姿が見られた(8月下旬)

る姿が見られた。9月に入り、追加調達した用紙も底をついたが、「ハスの花」は届き続けた。自前の紙で折ってくれた人たちが相当数に上っ

## 「千のハス」折り紙プロジェクト

た。展示のため館内に設けた「蓮池」ではスペースが足りず、「ハスの花」は館内4階までの各所を彩ることになった。展示は10月末までの予定。



エントランスロビーの特設「蓮池」で始まった「千のハス」展示

### 「千のハス」協力者の一言

## 「誇れる施設」「感謝込めて」「より身近に」

秋田市 土田邦子さん(40代)

自分の折ったものがお祝いになるのが楽しい。ミルハスは立ち寄りやすく、フリースペースも広い。気軽に楽しめるロビーコンサートなどが増えれば、より多くの人たちの身近な存在になるだろう。

秋田市 芳賀京子さん(80代)

ミルハスは居心地がいい。ちょっと涼みにとか本を読みにとか、よく来る。これほど気軽に立ち寄れるホールはほかにはないのではないか。折り紙は一生懸命折った。どう飾られるか楽しみ。

岩手県盛岡市 高橋優香さん(20代)

観光で秋田に来て、初めてミルハスを訪ねた。「千のハス」の制作ブースで皆さん楽しそうに折っていたので参加した。ミルハスは外観がとても素敵。館内も木のぬくもりが感じられていい。

岩手県遠野市 松田智恵子さん(40代)

今日は秋田大学に通う娘の送迎のために来館した。娘のサークルの演奏会で中ホールにも入ったことがある。外観が素敵で、中は落ち着いた雰囲気。また来る機会があると思う。

秋田市 渡辺聖那さん(高校3年生)

1月の県民ミュージカルに出演した。今は演劇を学べる大学を目指し勉強している。俳優になってミルハスのステージに立ちたい。ミルハスで観劇経験も積んだ。折り紙に感謝を込めた。

秋田市 小野友佳里さん(40代)

娘二人と一緒に折った。シンガポールに住む親友が秋田に来た際、ミルハスを案内したら、素敵だと感動していた。新たに誇れる施設ができてうれしい。今後の公演などにも期待している。

# Interview

インタビュー



わらび座「祭シアター HANA」

横内謙介さん(脚本・構成)

わらび座が企画・制作・出演した「祭シアター HANA」(秋田県主催)が8月4日から同16日までミルハス中ホールでロングラン上演された。脚本・構成は劇作家・演出家で劇団扉座を主宰する横内謙介さん。震災やパンデミックなどに伴う分断や喪失から祭りを通じて人々の生命力やきずながよみがえる様子をせりふのないノンバーバルの手法でまとめた。わらび座のメンバーはパワーと情感あふれる歌舞、演技を披露。横内さんに手応えなどを聞いた。



## 海外にも通じる ノンバーバルに

—HANAは幅広く楽しんでもらえたようだ。全国各地の芸能を研さんしながら継承しているわらび座に可能性を感じていた。言葉を超えようとするとき、地域性の強いものがかえて大きな武器になる。わらび座は民謡をつないだレビュー、歌舞といったものの伝統がある。それにドラマチックな要素を加えシアトリカル(演劇的)にする必要があった。祭りの晴れの側面だけでなく祈りやはかなさ、悲しさ、生と死といったものを踏まえたパフォーマンス

にすることで、世界の人たちの胸を打つことができると考えた。コロナからよみがえるシーンも素晴らしく、高いレベルに仕上がった。

—今後につながる一歩か。観光資源として、子どもたちに見せるものとしてわらび座のレパートリーになってほしい。鬼、こけしというのはメタファーでありビジュアル的にも世界に通じる説得力がある。ブラッシュアップすればラスベガスの舞台上演されてもおかしくない。

—ノンバーバルは目新しい形態か。米ラスベガスではアートサーカスが成功して先駆者となり、韓国では伝統芸能を取り入れた成功例もある。東京でもオリンピック前から外国人観光客向けに多くの挑戦がなされたが、目覚ましい成功例はなかった。



「祭シアター HANA」の一場面(撮影:コンドウダイスケ)

### \* 観客の声

秋田市  
明石理奈さん(30代)  
客席にも盛大に降った花吹雪が印象的だった。ノンバーバルでも分かりやすく海外にも自信をもって紹介できると感じた。

秋田市  
高桑なぎささん(小学1年生)  
いろいろな踊りを見られたし、提灯を振ったのも楽しかった。こういうのならまた見たい。

神奈川県川崎市  
本田千翔くん(小学6年生/家族と帰省中)  
とても楽しく見られた。客席で小さい提灯を上げさせてもらったのはすごい体験だ。



「旅立つ家族」の一場面(文化座提供)

## 劇団文化座「旅立つ家族」公演

### 代表 佐々木愛さん、感慨語る

劇団文化座の舞台「旅立つ家族」が9月2日、大ホールで上演された。太平洋戦争、朝鮮戦争、半島の分断と時代に翻弄された家族の愛の物語に、観客は引き込まれた。文化座代表の佐々木愛さんは公演後、「お客さんの反応が温かった。父の故郷秋田で上演できたことは喜ばしい。みなさんの人生が豊かになるきっかけとなればこんなうれしいことはないです」と話した。文化座のミルハスでの公演は昨年10月の「しゃぼん玉」に続いて2年連続。「再びミルハスの舞台に立つことができた。公演直前には秋田県は大雨被害に見舞われた

が、まだその傷も癒えないうちにたくさんのお客さんに来ていただき、感謝でいっぱいです。秋田のみなさん、ありがとうございました」と佐々木さん。「旅立つ家族」については「主人公の画家李仲燮(イジュンソプ)は大変な時代を生き抜いた。その中で愛する人がいて、

亡くなるまで本当に妻を愛し、妻も夫を愛した。愛を貫いた勇氣、その姿がお客さんの心に残ってもらえたらうれしい」と話し、「ぜひまた秋田、ミルハスで公演したい。そして地元で演劇をやっている人たちが対象に講座など交流できる機会もつくりたい」と笑顔を見せた。



花束を贈られ客席に語り掛ける佐々木愛さん



カーテンコールでは出演者たちが勢ぞろいし客席に感謝を伝えた

# 人生を豊かにする きっかけになれば



初日の練習風景。佐々木さん(中央)が演奏を止めては口頭で指導した。真剣な中にも和やかさ

全国アマオケフェス秋田大会

# ホールの成長を感じた

## Mini Interview

### 佐々木新平さん(オケA指揮)

—大勢の愛好者が秋田に集まった。

参加者たちが各地の情報を持ち寄り、得たものを持ち帰る。文化が全国で循環するのはとてもよいことだ。

ミルハス開館を機に2度目の秋田開催となった。ホールの響きについて参加者たちから高い評価が聞かれた。オケBコンサートマスターの三浦章宏さんがオケAの本番直後に「ものすごいホールだね」と声をか

けてくれた。彼は全国あまたのホールを経験している方。2階席で聴いたらしいが、「音が、迫力そのままに届く」とも話していた。

—今回の役割で心掛けたことは。

短い日数で参加者たちに成果を持ち帰ってもらうため、それぞれ考えていることを尊重しながらまとめることに集中した。結果として本番もみなさん生き生きと演奏し

てくれた。

—指揮してあらためて感じたことは。

大ホールでのオーケストラを指揮するのは今回が初めてだった。やはり十分に満足できる音響があると感じた。内装に多用されている木材の水分量の変化によると思われる響きの変化も感じられた。ホールの成長、成熟と言えるのでないか。

第51回全国アマチュアオーケストラフェスティバル秋田大会(主催:公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟など、主管:秋田市管弦楽団)のコンサートが8月20日、大ホールで開かれた。全国各地から演奏者約300人が参加。コンサート前々日からAB二つに分かれて練習を重ねた。オーケストラAの指揮を務めた秋田市出身の佐々木新平さんに秋田開催の意義などを聞いた。

## 小山実稚恵さんのリサイタル / 12月20日、大ホールで

日本を代表するピアニスト小山実稚恵さんのリサイタルが12月20日(水)午後6時半から、大ホールで開かれる。

演奏プログラムは、ショパンの「ピアノソナタ第3番 短調 作品58」のほか、シューベルトの「即興曲 作品90(全4曲)」、ブラームスの「3つの間奏曲より第1番、第2番」。(曲目は変更になる場合もある)

小山さんはチャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノコンクールで入賞。以来、第一線で活躍している。これまで国内外

のオーケストラと共演している。あきた芸術劇場のスタインウェイ製ピアノを選定したほか、昨年9月の開館記念公演では新日本フィルハーモニー交響楽団と共演した。

チケットは10月6日一般発売。全席指定で一般4,500円、子供(小~高校生)1,000円。当日券は500円増し。販売は、さがけニュースカフェ、あきた芸術劇場、ローソンチケット(Lコード:22161)。問い合わせは秋田魁新報社企画事業部(TEL:018-888-1857)。



©Osamu Hoshikawa

2023年 10月・11月・12月

## 公演・イベント情報

### 10月

9日(月・祝) 17:45開演 ●大ホール

東京スカパラダイスオーケストラ 2023 HALL TOUR「JUNK or GEM~Autumn&Winter」  
※チケット完売  
【お問い合わせ】キョードー東北 TEL:022-217-7788

9日(月・祝) 14:00開演 ●中ホール

ニューニュー ピアノリサイタル 2023  
【お問い合わせ】秋田放送企画事業部 TEL:018-826-8500

21日(土) 16:00開演 ●大ホール

徳永英明 Hideaki Tokunaga Concert Tour 2023 ALL BEST2  
※チケット完売  
【お問い合わせ】キョードー東北 TEL:018-833-7100

22日(日) 16:00開演 ●大ホール

野口五郎 Concert Tour 2023 ~life is a gift~  
【お問い合わせ】チケットパートナーズ TEL:022-222-2033

23日(月) ①14:00 ②18:00開演 ●大ホール

美川憲一&コロクケ スペシャルジョイントコンサート 2023  
【お問い合わせ】チケットパートナーズ TEL:022-222-2033

25日(水) 13:30開演 ●大ホール

市川由紀乃 30周年記念コンサート ソノサキノユキノ 由紀乃スペシャルバンド  
【お問い合わせ】世界芸能 TEL:022-222-4997

### 11月

3日(金・祝) 17:00開演 ●大ホール

ディズニー・オン・クラシック ~まほうの夜の音楽会2023~  
【お問い合わせ】秋田テレビ営業推進事業部 TEL:018-866-8030

5日(日) 17:00開演 ●大ホール

GReeeeN LIVE TOUR 2023 "The GAME"  
※チケット完売  
【お問い合わせ】キョードー東北 TEL:022-217-7788

6日(月) 14:00開演 ●大ホール

前川清 55周年記念コンサート ~ありのままに~  
【お問い合わせ】チケットパートナーズ TEL:022-222-2033

11日(土) 15:00開演(予定) ●大ホール

私立恵比寿中学秋田分校 ~変わっていくことと変わらないもの~  
【お問い合わせ】秋田放送企画事業部 TEL:018-826-8500

12日(日) 15:00開演 ●大ホール

仙台フィルハーモニー管弦楽団×レインハルト・ジーハファー&千田桂大~苦悩を通じて、歓喜に至る~  
【お問い合わせ】秋田・湯上国際音楽祭実行委員会 TEL:018-874-9215

13日(月) 18:30開演 ●大ホール

劇団四季ミュージカル「クレイジー・フォー・ユー」秋田公演  
【お問い合わせ】劇団四季仙台オフィス TEL:0570-008-110(ナビダイヤル)

15日(水) ①14:30 ②18:00開演 ●中ホール

細川たかし 長山洋子 ~ふたりのビッグショー~  
【お問い合わせ】夢グループ TEL:0570-064-724

20日(月) ①13:30 ②17:30開演 ●大ホール

天童よしみコンサート 2023 ~あなたの大切な街へ、50年の感謝を届けたい~  
【お問い合わせ】世界芸能 TEL:022-222-4997

24日(金) 18:30開演 ●大ホール

Mr.Children tour 2023/24 miss you  
【お問い合わせ】キョードー東北 TEL:022-217-7788

26日(日) 15:00開演 ●大ホール

森山良子 コンサートツアー ~My Story~  
【お問い合わせ】チケットパートナーズ TEL:022-222-2033

27日(月) ①14:00 ②18:00開演 ●大ホール

吉幾三 コンサート 2023 [郷愁 ~ぬくもりを歌にのせて~]  
【お問い合わせ】世界芸能 TEL:022-222-4997

29日(水) 14:00開演 ●大ホール

山内恵介 コンサートツアー 2023 ~歌うところは万華鏡~  
【お問い合わせ】ノースロードミュージック秋田 TEL:018-833-7100

30日(木) 18:45開演 ●大ホール

NDRエルプ フィルハーモニー管弦楽団  
【お問い合わせ】秋田朝日放送事業部 TEL:018-888-1505

### 12月

2日(土) 15:00開演 ●大ホール

高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト コンサートツアー 2023~2024  
※チケット完売  
【お問い合わせ】キョードー東北 TEL:022-217-7788

3日(日) 17:00開演 ●大ホール

HOTEL the LIVE 2023 "GUITARHYTHM VII TOUR"  
【お問い合わせ】キョードー東北 TEL:022-217-7788

10日(日) 15:00開演 ●大ホール

朗読劇 泉ピン子の「すぐ死ぬんだから」  
【お問い合わせ】秋田魁新報社企画事業部 TEL:018-888-1857

20日(水) 18:30開演 ●大ホール

小山実稚恵 ピアノリサイタル  
【お問い合わせ】秋田魁新報社企画事業部 TEL:018-888-1857

22日(金) 18:30開演 ●中ホール

わらび座ミュージカル「新解釈・三湖伝説」  
【お問い合わせ】秋田魁新報社企画事業部 TEL:018-888-1857

23日(土) 14:00開演(予定) ●大ホール

佐渡裕指揮 シエナ・ウインド・オーケストラ ~プラスの祭典 2023~  
【お問い合わせ】秋田放送企画事業部 TEL:018-826-8500

※掲載しているのは公演・イベントの一部です。「完売」情報は9月中旬時点のもので、記載のない公演でもお読みになった時点で完売している場合があります。ご了承ください。

## Mille Has information

# 11月13日 大ホールで 珠玉の楽曲、多彩なダンス 劇団四季「クレイジー・フォー・ユー」

劇団四季の代表的なレパートリー作品であるミュージカル「クレイジー・フォー・ユー」の秋田公演が11月13日、大ホールで開催される。

ラブコメディの名作として知られる物語の舞台は1930年代のアメリカ。さびれた街の劇場を差し押さえに赴いた銀行の跡取り息子が劇場オーナーの娘に一目ぼれする。いきなり振られてしまうものの大胆にも別人になりすまし、劇場をもり立てるショー開催を宣言して住民を巻き込み奮闘しながら娘の気を引こうとする。次々とハプニングに見舞われる恋模様は、ガーシュイン兄弟による珠玉の楽曲と多彩なダンスに彩られ明るくドラマチックに描かれる。

92年に米ブロードウェイで初演され、トニー賞で最優秀作品賞などを受賞。劇団四季は93年の初演以来、2千回を超える公演を重ねている。

開演は午後6時半(同5時45分開場)。チケットは全席指定でS席1万円、A席8千円、B席5千円(3歳未満入場不可)。ミルハス管理事務所とさきがけニュースカフェ(秋田市のエリアなかいち商業施設内)、セブン-イレブンで対面購入できる。ネット予約は▽SHIKI ON-LINE TICKET▽ミルハス公式ウェブサイト▽チケットぴあ(Pコード520-575)▽ローソンチケット(Lコード22269)ーで。

問い合わせは劇団四季仙台オフィス(TEL:0570-008-110=ナビダイヤル)。



いずれもクレイジー・フォー・ユーの一場面(撮影:荒井健)

## 千秋sensyu-小秋komichi徑

あつという間の1年であった。ジェットコースターに乗っているようだったとまでは言わないが、息つく暇もなかった前を見つめて歩みを続けてきた。あきた芸術劇場ミルハスはこの9月でグランドオープンから1周年を迎えた▼1周年に花を添えたの

が、芸大フィルハーモニア管弦楽団の公演である。その演奏は圧巻であり、大ホールを埋めた観客を魅了した。時に繊細に、時に伸びやかに、そして高らかに、まさに1周年を祝うに相応しい演奏であった▼指揮を執った現田茂夫さんからは「素晴らしいホール。音が良く響く一方で、音がまとまって散らない。我々クラシックの人間が言うのだから間違いない」と高い評価をいただいた。ホールで使用されている秋田杉についても温かい色合いで美しいとの感想を漏らした▼グランドオープンから1年。クラシックはもとより、ミュージカル、Jポップ、ロック、ダンス、演劇など多種多様な公演が披露されてきた。高橋優さん

は「ここはいいよね」と、斉藤和義さんは「やりやすいホール」と観客にアピールしていた。多くのアーティストがミルハスの音響、機能に満足していただいたと自負している▼まだまだ改善すべき点もある。来館者のみなさんからは厳しいご指摘、率直なご意見を多数いただいている。一つずつ解決し、より足を運びやすいホールとなるよう努力を続けていく▼文化座の代表佐々木愛さんは「(観客のみなさんの)人生を豊かにするきっかけになればこんなうれしいことはない」と舞台終演後に話した。ミルハススタッフ一同もまさに同じ思いである。出演者、観客のみなさんとともにミルハスは成長していくと信じている。



あきた芸術劇場  
Akita Arts theatre  
ミルハス

<発行>あきた芸術劇場ミルハス  
〒010-0875 秋田市千秋明徳町2番52号  
TEL.018-838-5822 FAX.018-838-5825  
E-mail/info@akiat.jp https://akiat.jp

